

看護の統合と実践

専門分野

授業科目	災害看護	氏名	岡野大輔	開講年次	3年次後期	単位・時間	1単位 30時間
		所属	病院	3年次後期	1単位 30時間		
		実務経験	臨床看護師 元日本DMAT				
科目のねらい	日本は自然災害が多い国であり、災害によって私たちの生活に大きな影響を及ぼしている。災害発生により救急システムは崩壊し、多数の傷病者が発生する。病院機能、医療資材の不足、医療従事者の不足の為、十分な治療が不可能となる。そのような状況下で「1人でも多くの人を救う」ため、治療の優先順位をつけるのがトリアージである。災害現場では絶対的なものはなく、現場に応じた臨機応変、基本的な災害に関する知識、学校がある福津市の特徴を理解することが地域からも求められている。この単元では、今までで学習した基礎看護学等の基本的な技術を活用し、被災者の健康状態をアセスメントする能力、柔軟な対応、災害現場をイメージしながら災害看護の活動の意義を実感する。						
到達目標							
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害の定義と種類を理解し、述べることができる。 2. 災害情報の種類と内容を理解し、説明できる。 3. 基礎看護技術の知識を使用し、災害看護に使える方法を選択できる。 4. 災害発生時の医療提供体制について説明できる。 5. 災害時の治療の優先順位の必要性を説明できる。 6. 講義、自己学習を活かし看護活動を実施することができる。 						
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 1. 校外学習で学んだ知識を使って、共有できるような発表ができる。 2. 地域の防災対策や方法を知り、看護師として必要なことを考え課題を明確にできる。 3. トリアージを実施し、治療の優先順位を考えることができる 4. 災害時をイメージし、演習で看護活動として行動できる。 						
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害看護について興味・関心を高めることができる。 2. 地域の防災マップや防災対策について積極的に調べる行動が出来る。 3. グループ間で協力的な行動がとれる。グループワーク、演習で自分の意見を積極的に述べ、ディスカッションすることができる。 4. 教科書を用いた基礎的知識、講義での知識を活用し自己学習し演習に参加することができる。 						
科目評価	定期試験（筆記）（50%）校外学習活動と発表資料（40%）リアクションシート（10%） 合計100%						
テキスト	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護（メディカ出版）						
参考文献							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項
		講義	演習	その他			
1	オリエンテーション災害の種類と定義 (災害対策基本法・WHO・IFRC)	○	○	○	岡野大輔 医療人類学 文化人類学 公衆衛生 診療補助援助技術Ⅰ・Ⅱ 療養生活援助技術Ⅰ・Ⅱ 地域と暮らし 医療安全 健康教育	動画視聴 WHO・IFRCについて事前に学習しておく	
2	CSACATTTとは 災害看護とは 災害支援ナース	○	○				
3	災害情報の種類と内容 トリアージとは トリアージと法律上の問題	○				グループで実際に場所を確認し、福津の防災マップ・水光会病院・学校の防災対策を調べてまとめ発表する	
4	発表	○	○				
5	応急処置・治療 応急処置（実践）		○			医療器具が無い状態でどのように看護するか、グループで検討して実施 演習を行うため動きやすい服装で行う（体操服）	
6	移送・搬送		○			演習を行うため動きやすい服装で行う（体操服）	
7	事例 シミュレーション		○				
8	トリアージ		○				
9	状況予測型訓練		○			ワーク	
10	状況予測型訓練		○			ワーク	
11	被災者の生活の場で起こりうる問題		○			ワーク	
12	被災者の生活の場で起こりうる問題		○			ワーク	
13	被災地へ派遣される際に持参する物		○			ワーク	
14	災害時の医療体制		○			ワーク	
15	災害時に活動する団体：DMAT等	○		○			
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。						